

てんかん発作が起こりやすくなる可能性がある薬剤

抗てんかん薬をいつも通りに内服していても、以下の状況ではてんかん発作が起こりやすくなることがあります。

環境

- 睡眠不足
- 飲酒後酔い覚め
- (光刺激)

薬剤

- バルビツール酸・ベンゾジアゼピン系薬物 (離脱時)
- 抗うつ薬 (イミプラミン、アミトリプチン、軽度ながら選択的セロトニン再取り込み阻害薬 : SSRI)
- 抗精神病薬 (クロルプロマジンなど)
- 気管支拡張薬 (アミノフィリン・テオフィリン)
- 抗菌薬 (カルバペネム系抗菌薬・抗菌薬及び非ステロイド性消炎鎮痛薬 : NSAIDs との併用)
- 局所麻酔薬 (リドカイン)
- 鎮痛薬 (フェンタニル・コカイン)
- 抗腫瘍薬 (ビンクリスチン・メトトレキサート)
- 筋弛緩薬 (バクロフェンなど)
- 抗ヒスタミン薬 など

文献 :

池田昭夫. 神経・運動器疾患 : 機能性疾患. 井村裕夫編. わかりやすい内科学 第3版. 東京. 文光堂. 2008. p. 826-837 から改変引用

文責 : 京都大学病院てんかん診療支援センター、2019. 1. 10 作成